



(Vol.3 No.1) との連動企画である。全国大会、情報科学技術フォーラム (FIT) においてデジタルプラクティスの特集とリンクした企画イベントの実施も行っている。特に、2016年4月発行の「オープンサービスイノベーション」特集 (Vol.7 No.2) の内容をベースに、FIT での企画イベントを実施し、さらに7月に富士通 (株) 主催、本会後援でイベントが開催されるなどの拡がりを見せている。また、本号の特集である「ICT とダイバーシティ社会」(Vol.8 No.1) では、会誌編集委員会女子部や Info-WorkPlace 委員会と連携した活動として、全国大会での企画イベントの実施や記事の相互掲載といった連携を行っている。

他組織とのコラボレーションとしては、JISA ((一社) 情報サービス産業協会) の JISA アワードの受賞案件の内容を論文の形で投稿いただいて JISA 招待論文として毎年掲載している。

本会の研究者コミュニティへのサービスである研究会活動との連携も図るために、研究会、支部、シンポジウム等のイベントからのデジタルプラクティスへの推薦論文制度も2016年7月から開始した。また、本会の重要な事業の1つである情報規格調査会の活動とも連携し、「事業に生きる標準化の力」(Vol.1 No.2)、「事業に生きる我が国発の標準化」(Vol.2 No.4) の2つの特集号を発行している。

デジタルプラクティスの論文を通して実践に基づく知見を蓄積し活用するという本来の価値を提供していくことはもちろんだが、ここで述べたようなさまざまな本会内外の活動と連携することで、本会の価値ならびに情報技術の利用価値を高めることに寄与できればと考えている。関連各位のこれまでのご協力に感謝するとともに、今後もさらなるご協力をお願いしたい。